



令和6年度 中郡小学校だより

くすのき



令和7年2月12日

平を大切に

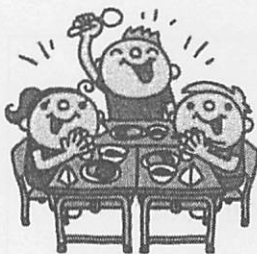
3学期も残り1か月半となりました。子供たちは、現学年のまともに
励むとともに、次の学年に向かって助走を始めています。



さて、私は神社仏閣をめぐるのが好きなので、今年に入ってから、すでにいくつかの寺社参りをしました。その際、「今年の運勢は・・・」とおみくじを引いている方をたくさん見かけましたが、おみくじの運勢の中に「平(たいら・へい)」というものが存在するのを御存知でしょうか。今では、全国でも数えるほどの寺社のおみくじにしか入っていないようですが、かつての人々は、この「平」というおみくじが出ることを期待したそうです。「平」というのは「おだやか」「やすらか」という意味で、よくも悪くもなく、平凡な日常ということです。今も何気なく交わしている「お変わりありませんか」「相変わらずです」という挨拶に、かつての人々が「平」(平凡な日常)を大切にしていた名残をみることができます。しかし、「平」の日常は簡単なようでなかなか難しく、だからこそ、私たちは「平」であるために、様々な努力をしているように思います。

学校には同年齢、異年齢の子供たちが集まり、かかわりながら学び合っています。それが「平」として日常になっていることに感謝の思いをもち、みんなで1日1日を大切にしていきたいと思います。そして、学校だからできる、人・ものこととのかかわりを大切に、「理解していること・できること」を増やす、「理解していること・できることを使う思考力や判断力・表現力」、「学んだことを生活や自分の生き方に生かす力」を身に付けることができるよう、家庭・地域とともに中郡小の教育の充実を図っていきます。引き続き、中郡小学校教育へのご理解とご支援をお願いいたします。

< 生きる上での基本となる食、食べるが価値 >



「わたしたちの体は、すべて小さな細胞からできています。古くなった細胞は、こわれて新しい細胞がつくられていきます。体を作る材料が食べものです。毎日、しっかり作り直していけるように、自分のために食べていきましょう。」

「献立名で、使われている材料が分かったり、どんな料理か想像できたりします。献立名は、みなさんの名前と同じように、思いや意味がこめられているものなのです。」

「今日、自分が食べたもので、未来の自分の体がつくられます。健康で幸せな毎日のために、食べることを大切にできるといいですね。」

これらは、本校の栄養教諭が、食育の一環として、子供向けに毎日発行している“今日の給食だより”に書かれている言葉の一部です。栄養教諭から子供たちへのメッセージです。